



秋田県立鹿角高等学校中期ビジョン (令和6・7年度)

令和6年4月策定

I 本校が目指す姿

① 学校の現状や課題

【現状】

- 統合初年度
- 地元出身生徒の割合が高い
- 地元就職率が高い
- 多種多様な進路希望
- 地域との連携が密接

【課題】

- 少子化による入学者の減少
- 生徒の人間関係の固定化
- 生徒の視野の拡大
- 他地区等への中学生の流出
- 学校のアピールの充実



② 学校を取り巻く将来の状況の予測

- 鹿角小坂地区の人口減少と中学校卒業生数の減少
- 伝統文化継承のために、高校生が果たす役割の拡大
- 地域医療を支える医師の不足
- 地域に求められ、地域で活躍する人材育成への期待
- 高校生の地域行事への積極的参加と地域社会への貢献

③スクール・ポリシー

(i) グラデュエーション・ポリシー(目指す生徒像)

- 主体的に学びに向かう態度と、学んだことを活用する力を身に付け、社会的・職業的に自立し、社会に貢献することができる生徒
- 課題を多面的に捉え、その解決に向けて挑戦し続けようとする姿勢を身に付け、社会の変化に主体的かつ柔軟に対応できる生徒
- ふるさとの伝統や文化を理解しようとする態度を身に付け、多様な文化や価値観をもつ人々と互いに尊重し合い、共生することができる、感性豊かな生徒

(ii) カリキュラム・ポリシー(本校の学び)

- 学校の教育活動全体を通して、グローバルな視野で自己の在り方・生き方を考え、目標の実現に向けて、力強く、たくましく生きる気概を育む
- 探究的な学習を通して、社会的な課題の発見と解決に必要な知識や技術の確実な定着を図るとともに、主体的・協働的に学ぶ態度とコミュニケーション能力を育成する
- 地域と連携したキャリア教育を通して、郷土への愛着を育むとともに、多様な進路目標に対応し、一人一人の能力と個性を伸ばす
- 地域の教育資源を活用したものづくり教育を通して、地域産業の振興に貢献することができる幅広い技術や技能を育成する

(iii) アドミッション・ポリシー(求める生徒像)

【普通科】

- 自ら積極的に学びに向かい、身に付けた力を活用して社会に貢献しようとする生徒
- 社会の課題を発見し、その解決に向けて主体的かつ柔軟に対応し、挑戦し続けようとする生徒
- 郷土の伝統や文化の理解に努め、多様な価値観をもつ人々と尊重しあい、共生しようとする生徒

【産業工学科】

- ものづくりに興味をもって意欲的に学びに向かい、身に付けた力を活用して社会に貢献しようとする生徒
- 社会の課題を発見し、その解決に向けて主体的かつ柔軟に対応し、挑戦し続けようとする生徒
- 郷土の伝統や文化の理解に努め、多様な価値観をもつ人々と尊重しあい、共生しようとする生徒

Ⅱ 2年間を通しての具体的な目標と取組

① 2年間を通しての具体的な目標

【進路指導の充実】

- 進路決定率 ⇒ 100%
- 国公立大合格者 ⇒ 30名以上
- 難関大学合格者 ⇒ 複数名
(医学部医学科を含む)
- 公務員合格者 ⇒ 15名以上
- 県内就職率 ⇒ 80%以上

【資格取得の推進】

- 3年間での資格取得 ⇒ 1人2種類以上

【地域貢献活動の推進】

- 3年間でのボランティア活動参加 ⇒ 1人5回以上

【部活動の充実】

- 東北・全国大会(コンクール等も含む)出場 ⇒ 5部以上

② 目標を達成するための具体的な方法・取組等

- 主体的・対話的で深い学びを重視した授業 ⇒
 - ・授業研修会等による教員の授業力向上
 - ・ICT機器の積極的活用による授業実践 等
- 生徒の希望する進路や興味・関心に応じた科目選択 ⇒
 - ・学校設定教科・科目の設置
 - ・自由選択科目の開講 等
- 特色ある学校行事や体験活動 ⇒
 - ・地域と密着した学校祭、強歩大会 等
 - ・長期インターンシップの実施
 - ・ボランティア活動の実施 等
- 地域や企業等と連携した調査・研究を行う探究的な学習 等 ⇒
 - ・多様な他者との協働的な学び
 - ・社会人講師等の活用による学習活動
 - ・地域や企業連携等による学習の展開
 - ・ふるさと学習による
 - 地域理解と伝統文化の継承
 - ・異文化に触れる機会の提供や
 - 異文化体験をもつ人との交流 等
- 部活動の活性化と全国大会等で活躍できる競技力の向上 ⇒
 - ・強化部指定による競技力等の向上
 - ・専門人材の積極的活用
 - ・積極的な広報活動 等